



研修の目標観

- 1 入職から1年間で振り返り、身に付けた能力や職場からの期待役割を整理する。
- 2 様々な状況において、前向きな考え方や行動ができるようになるための考え方を身に付ける。
- 3 自身の行動上の強みを知ること、コミュニケーション力を高める。



研修のポイント

- ・入職から現在までの期間で身に付けた能力を整理することで、自身の成長を実感していただくと同時に、職場や周囲からの期待を明確することで、職場や組織への貢献実感を持っていただきます。
- ・福祉の業務において起こる様々な状況において、より良い成果をもたらすために、物事のとらえ方を柔軟にする「レジリエンス」の考え方を習得していただきます。
- ・入職2年目を迎えるにあたり、利用者様やご家族、地域住民、職場の上司・先輩、入職してくる後輩などと効果的なコミュニケーションをとるための自己理解ツールを活用いたします。

※下記プログラムは一例です。貴組織のご要望に合わせてプログラムをご提案させていただきます。

	タイムスケジュール	講義形式
午前	「オリエンテーション」 ・福祉業界の置かれた環境と福祉職員に求められる役割 「1年間の職場活動の振り返り」 ・取り組んだ業務と身に付けた能力の確認 「役割とは」 ・組織における2つの役割（制度的役割・期待役割） 「レジリエンスとは」 ・レジリエンスの定義、考え方 ・起きた事象に対する捉え方を変えてみる	講義 講義 個人ワーク/グループ共有 講義 個人ワーク/グループ共有 講義 個人ワーク/グループ共有 相互アドバイス
午後	「コミュニケーションとは」 ・コミュニケーションの定義 ・コミュニケーションの重要性 ・自己理解と他者理解 「自己のコミュニケーションにおける強みの確認」 ・自己診断ツールを活用した強み診断 ・強みの確認、緩和、拡張、応用 ・コミュニケーションロールプレイング 「キャリア開発」 ・キャリアとは ・できること、期待されていること、やりたいこと 「1日の振り返り」	講義 個人ワーク ロールプレイング 相互アドバイス 講義 講義 個人ワーク/グループ共有 個人ワーク/グループ共有